（その四）

工場又は事業場の名称	東邦化学工業株式会社 千葉工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成２１年度以前	平成２２年度	平成２３年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

基準年(平成１２年)以降、設備増設により生産品目が多様化して、ＶＯＣ原料の使用量が大幅に増加している。コンデンサーの増強、冷却装置の増強等を実施しているが基準年を下回ることは困難である。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。